

Omron WebMonitor入門編

ユーザーズマニュアル

おことわり

- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- 本マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本マニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お手数ですが、弊社支店または営業所までご連絡ください。その際、巻末記載のMan.No. (マニュアルNo.) も併せてお知らせください。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、Visual Basicは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- EtherCAT®は、ドイツBeckhoff Automation GmbHによりライセンスされた特許取得済み技術であり登録商標です。
- ODVA、CIP、CompoNet、DeviceNet、EtherNet/IPはODVAの商標です。

その他、本文中に掲載している会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権

スクリーンショットはマイクロソフトの許諾を得て使用しています。

はじめに

このたびは、F430/F420 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、主にスマートカメラ F430/F420 を使用する際の WebMonitor の操作方法について説明した解説書です。
なお、ご使用の際は、各機器のユーザーズマニュアルを併せてご覧ください。
このマニュアルでは、WebMonitor を使用する上で、必要な情報を記載しています。お使いになる前に本マニュアルをよく読んで、十分に理解して下さい。また、お読みになった後もこのマニュアルは大切に保管して、いつでも手元においてお使いください。

目次

はじめに	1
目次	2
ご承諾事項	5
安全上の注意	7
安全上の要点	7
使用上の注意	7
法規と規格	7
マニュアル改訂履歴	8

第 1 章 WebMonitor の概要

導入	1-2
要件	1-2
接続	1-3
アプリケーションの概要	1-4
アプリケーションバー	1-5
ページ、パネル、およびウィジェット	1-6
データイベント識別子	1-9
ライブモードとレビューモード	1-10

第 2 章 レイアウトの編集

レイアウト編集モード	2-2
ページの作成、編集、および削除	2-3
ウィジェットの挿入および設定	2-4
ウィジェット設定パネル	2-7

第 3 章 タグ

WebMonitor タグ	3-2
---------------------	-----

第 4 章 ウィジェット

[値を読み込む] ウィジェット	4-2
[値の書き込み] ウィジェット	4-6
[グラフ] ウィジェット	4-12
[値のログ] ウィジェット	4-14
[単一画像] ウィジェット	4-16
[画像フィルムストリップ] ウィジェット	4-19
[ヘッダ] ウィジェット	4-22
[検査カウンタ] ウィジェット	4-23
[デバイス制御] ウィジェット	4-24

付録 A PC ベースシステムの WebMonitor HTTP ポートの変更

WebMonitor HTTP ポートの変更	A-2
------------------------------	-----

付録 B WebMonitor の多言語対応

WebMonitor の多言語対応	B-2
-------------------------	-----

ご承諾事項

「当社商品」について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。

● 定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

- ・「当社商品」:「当社」の FA システム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
- ・「カタログ等」:「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含まれます。
- ・「利用条件等」:「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
- ・「お客様用途」:「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み、または利用を含みます。
- ・「適合性等」:「お客様用途」での「当社商品」の (a) 適合性、(b) 動作、(c) 第三者の知的財産の非侵害、(d) 法令の遵守および (e) 各種規格の遵守

● 記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

- ・ 定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
- ・ 参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- ・ 利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
- ・ 「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

● ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

- ・ 定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
- ・ お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
- ・ 「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
- ・ 「当社商品」をご使用の際には、(i) 定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii) 「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii) 利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv) 「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
- ・ 「当社」は DDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。
- ・ 「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。

- (a) 高い安全性が必要とされる用途（例：原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途）
 - (b) 高い信頼性が必要な用途（例：ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など）
 - (c) 厳しい条件または環境での用途（例：屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など）
 - (d) 「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途
- ・ 上記の (a) から (d) に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車（二輪車含む。以下同じ）向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

● 保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

- ・ 保証期間 ご購入後 1 年間といたします。
（ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。）
- ・ 保証内容 故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。
 - (a) 当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理
（ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。）
 - (b) 故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供
- ・ 保証対象外 故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。
 - (a) 「当社商品」本来の使い方以外のご利用
 - (b) 「利用条件等」から外れたご利用
 - (c) 本ご承諾事項「ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
 - (d) 「当社」以外による改造、修理による場合
 - (e) 「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
 - (f) 「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因
 - (g) 上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因（天災等の不可抗力を含む）

● 責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。

「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

● 輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合は、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規則に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

安全上の注意

安全上の注意の内容については、「MicroHAWK F320-F/F330-F/F420-F/F430-F スマートカメラ ユーザーズマニュアル (SDNC-746)」の「安全上の注意」を参照してください。

安全上の要点

安全上の要点の内容については、「MicroHAWK F320-F/F330-F/F420-F/F430-F スマートカメラ ユーザーズマニュアル (SDNC-746)」の「安全上の要点」を参照してください。

セキュリティ対策

● アンチウイルス保護

制御システムに接続するパソコンへの最新の商用品質のウィルス対策ソフトの導入および保守を行ってください。

● 不正アクセスの防止

当社商品に対して、以下の不正アクセス防止対策を行ってください。

- ・ 権限保有者だけを制御システムや装置へアクセス可能とする物理的統制の導入
- ・ 制御システムや装置のネットワーク接続を最小限に抑えることによる、信頼できないデバイスからの
- ・ アクセス防止
- ・ ファイアウォールの導入によるIT ネットワークからの分離（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）
- ・ 制御システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合における、仮想プライベートネットワーク (VPN) の使用
- ・ 制御システムや装置へのリモートアクセスにおける多要素認証の導入
- ・ 強固なパスワードの採用と頻繁な変更
- ・ 制御システムや装置でUSB メモリなど外部ストレージデバイスを使用する場合の事前ウイルススキャン

● データ入出力の保護

制御システムや装置への入出力データの意図せぬ改変に備えた、バックアップや範囲チェックなどの妥当性の確認を行ってください。

- ・ データの範囲チェック
- ・ データの改ざんや異常に備えた、バックアップによる妥当性確認、リストアの準備
- ・ データの改ざんや異常を想定した、緊急停止や縮退運転などの安全設計

● 紛失データの復元

データ紛失対策として、定期的な設定データのバックアップと保守を行ってください。

グローバルアドレス経由でイントラネット環境を利用する場合、SCADA、HMI などの不正な端末や不正なサーバに接続すると、なりすまし、改ざんなどネットワークセキュリティの問題になる可能性があります。お客様ご自身で、端末へのアクセスの制限、セキュア機能を搭載した端末を使用、設置エリアの施錠などの十分な措置を講じてください。

イントラネットを構築する場合、ケーブル断線や不正ネットワーク機器の影響により通信障害が発生する可能性があります。設置エリアの施錠などの方法によって、ネットワーク機器への物理アクセスを制限するなど、十分な措置を講じてください。

SD メモリカード機能を搭載した機器を使用する場合は、リムーバブルメディアの抜き取り、不正アンマウントなどにより、第三者がリムーバブルメディアの中身のファイルやデータを不正取得、改ざん、差し替えなどを行うセキュリティリスクがあります。お客様ご自身で、設置エリアの施錠、入室管理などの方法によって、コントローラへの物理アクセスを制限したり、リムーバブルメディアの適切な管理対策を行ったりするなどの十分な措置を講じてください。

● ソフトウェア

本ソフトウェアを使用するパソコンにウィルス対策ソフトを導入し、パソコンがウィルスに感染するリスクを低減させてください。また、ウィルス対策ソフトは常に最新の状態にしてください。

OSの脆弱性に起因するセキュリティリスクを回避するために、本ソフトウェアを使用するパソコンのOSを常に最新の状態にしてください。

機能の追加や操作性の改善、セキュリティの強化のため、本ソフトウェアは、常に最新のバージョンにアップデートしてお使いください。

本ソフトウェアで設定するユーザー名やパスワードについて、他人から不正に利用されないよう適切な設定・管理をしてください。

制御システムや装置のネットワークはファイアウォール（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）を導入し、ITネットワークからの分離をおこない、本ソフトウェアの制御システムへの接続はファイアウォール内で行うようにしてください。

本ソフトウェアから制御システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合は仮想プライベートネットワーク（VPN）を使用してください。

使用上の注意

使用上の注意の内容については、「MicroHAWK F320-F/F330-F/F420-F/F430-F スマートカメラ ユーザーズマニュアル（SDNC-746）」の「使用上の注意」を参照してください。

法規と規格

法規と規格の内容については、「MicroHAWK F320-F/F330-F/F420-F/F430-F スマートカメラ ユーザーズマニュアル（SDNC-746）」の「法規と規格」を参照してください。

マニュアル改訂履歴

マニュアル改訂記号は、表表紙・裏表紙に記載されている Man. No. の後尾に付記されます。

Man.No. **SDNC-712D**

↑ 改訂記号

改訂記号	改訂年月	改訂理由・改訂ページ
A	2021 年 2 月	初版
B	2021 年 6 月	記載改善
C	2021 年 8 月	記載改善
D	2022 年 8 月	安全上のご注意にセキュリティ対策を追加。

WebMonitor の概要

導入	1-2
要件	1-2
接続	1-3
アプリケーションの概要	1-4
アプリケーションバー	1-5
ページ、パネル、およびウィジェット	1-6
データイベント識別子	1-9
ライブモードとレビューモード	1-10

この章には、WebMonitor インタフェースの全般的な説明が記載されています。

導入

Omron Web Monitor は Omron Microscan Link の値と Omron Microscan のスマートカメラの画像を視覚的に確認することができます。Omron Web Monitor はタブレットやスマートフォンを含む任意のデバイスのブラウザ上で動作します（タブレットおよびスマートフォン上にある Web ブラウザを含む）。

要件

WebMonitor は Windows 7（32 ビットおよび 64 ビット）および Windows 10 をサポートしています。

WebMonitor には HTML5 互換ブラウザが必要です。

- Internet Explorer 11 以降
- Google Chrome
- Firefox
- Mobile Safari (iPhone / iPad)
- Android デバイス上の Mobile Chrome

以下のブラウザで互換性を確認しています。

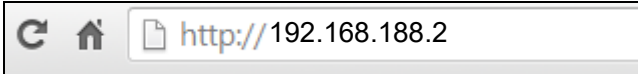
- Internet Explorer 11.0.2
- Google Chrome 33.0
- Firefox 28.0

補足事項：

- Windows 用 Safari はサポートされません。
- 拡張 OmronWeb Monitor セッションを使用するには、Internet Explorer11 以降および GoogleChrome33 以降を推奨します。

接続

WebMonitor を起動するには、任意の Web ブラウザを使用して、デバイスのアドレスをブラウザのアドレスバーに入力します。たとえば、Omron Microscan 製スマートカメラがネットワーク上の 192.168.188.2 のアドレスにある場合は、次のように入力します。

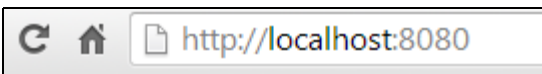


HAWK MV-4000 を使用している場合は、デバイスの名前を入力することもできます（例：http://HAWK5E7420）。

WebMonitor は AutoVISION のエミュレータとも連携します。

AutoVISION で動作しているソフトウェアベースのジョブに接続するには：

最初に、ジョブが動作していることを確認し、ブラウザのアドレスバーに以下を入力します。



注：PC ベースの接続の場合は、ポート 8080 を指定する必要があります。ネットワーク上の別のマシンから PC ベースシステムに接続している場合は、ローカルホストの代わりに IP アドレスまたは PC 名を使用します。たとえば、PC の IP アドレスが 10.20.1.234 である場合は、http://10.20.1.234:8080 を使用します。

アプリケーションの概要

以下に示す WebMonitor Dashboard ユーザインタフェースは、単一ページの Web app 形式アプリケーションです。

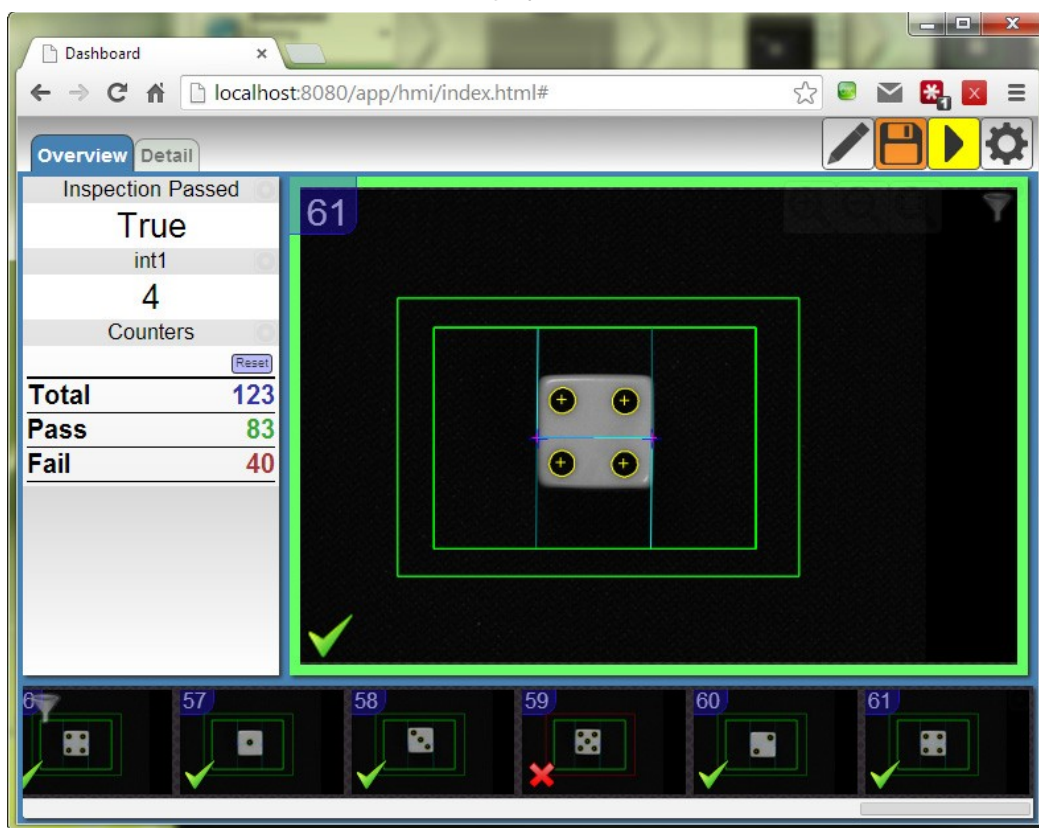
ほとんどの Web ページには、通常はブラウザウィンドウに一度に表示できないほどの情報が表示されますのでスクロールして情報を確認します。これらには通常、他のページへのリンクが含まれています。クリックすると Web サイト内へ移動します。

Omron Web Monitor はアプリケーションのように動作し、ブラウザウィンドウ全体に拡大し、ウィンドウのサイズの変更に自動的に適応します。Omron Web Monitor を使用すると、複数の表示ページを定義して使用できますが、それらはすべて 1 つの Web ページに含まれています。

ブラウザには最大 50 枚の画像が保存されます。カメラは、Web ページまたは API を介して要求できる画像、画像サムネイル、およびデータレコードを保存します。メモリがいっぱいになると、カメラは最初にフルサイズの画像を削除し、次にサムネイルを削除し、最終的には先入れ先出し法でデータレコードを削除します。

これは、Omron WebMonitor ページの一般的なビューです。

これは、WebMonitor ページの典型的な表示画面です。



アプリケーションバー

WebMonitor インタフェースの上部にはアプリケーションバーがあります。



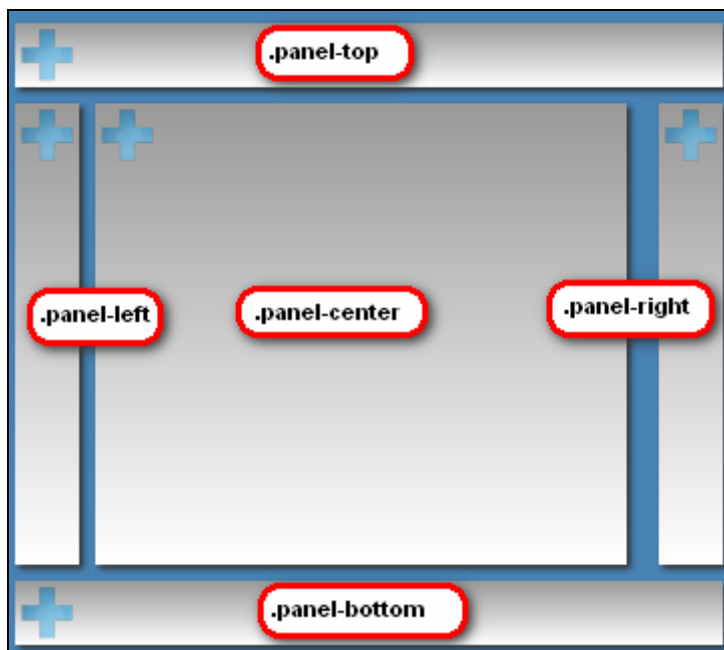
アプリケーションバーには3つのコンポーネントがあります。

- ページ選択ボタン () : 上記の例では、ページ選択ボタンがタブとして表示されていますが、スタイルは必要に応じてカスタマイズできます。
- ツールバー () : ツールバーを使用して、WebMonitor のさまざまな設定およびモードにアクセスできます。ツールバーの位置とサイズはカスタマイズできます。

ページ、パネル、およびウィジェット

WebMonitor のメインエリアには、多くのページのうちのいずれかが表示されます。複数のページが定義されている場合は、アプリケーションバーのページ選択ボタンを使用するか、またはキーボードの矢印キーを使用して、ページを切り替えることができます。

各ページはパネルと呼ばれる一連の領域で構成されています。以下の画像は、ページ上のパネルの配置を示す空のページを示しています。



名前は `.panel-` から始まることに注意してください。WebMonitor を使用するために、これらの名前を把握している必要はありませんが、カスタマイズが必要な場合は名前が重要となります。WebMonitor をカスタマイズするには、CSS（カスケーディングスタイルシート）を変更する必要があります。図に示す名前は、そのパネルの CSS クラスセレクトアに対応しています。

パネルの目的は、多くのウィジェットのコンテナとして機能することです。各ウィジェットには、検査データ（Omron Microscan Link 値、検査カウンタ、タイミング情報、画像など）の複数の項目を視覚化および操作する機能があります。

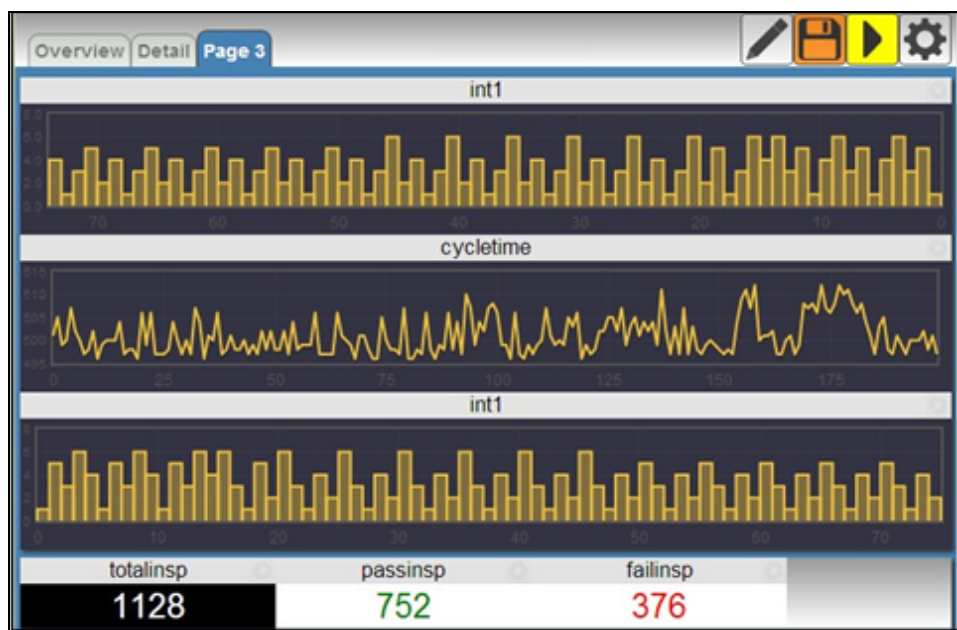
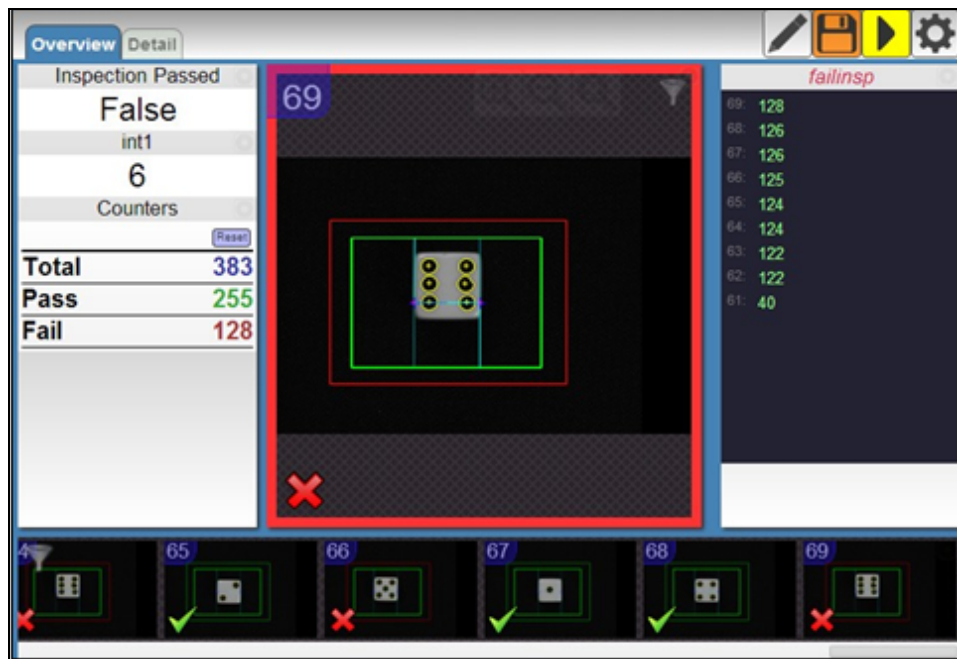
各パネルには専用のレイアウトおよび動作プロパティがあり、これらを利用して、さまざまな異なるレイアウトを作成できます。以下の表は、各パネルの位置およびプロパティをまとめたものです。

パネル	配置	説明
• panel-top • panel-bottom	ページの上部または下部に固定します。水平方向は自動的にウィンドウの左端から右端までに配置されます。	ウィジェットは、水平方向に拡大されます。たとえば、チャートやフィルムストリップを追加する場合、デフォルトでは拡大されます。
• panel-left • panel-right	ページの左側または右側に配置されます。パネルの幅は固定されています（デフォルトでは 194 ピクセル）。	パネルのウィジェットは通常、固定幅に収まるように調整されます。すべてのコンテンツを表示するのに十分な垂直方向のスペースがない場合は、スクロールバーが表示されます。
• panel-center	このパネルは拡大され、他のパネルで囲まれた中央の領域に配置されます。	このパネルに配置された画像ウィジェットは、パネル全体に拡大して表示されます。その他のウィジェットは画像の上に表示されます。

パネルにコンテンツがない場合（すなわち、ウィジェットが配置されていない場合）、そのパネルはビューから非表示になり、使用可能なスペース全体に合わせて他のパネルが調整されます。使用可能なパネルレイアウトの例は、次のとおりです。

上段：計測画像を中心にモニタリングするレイアウト

下段：計測データの推移を中心にモニタリングするレイアウト

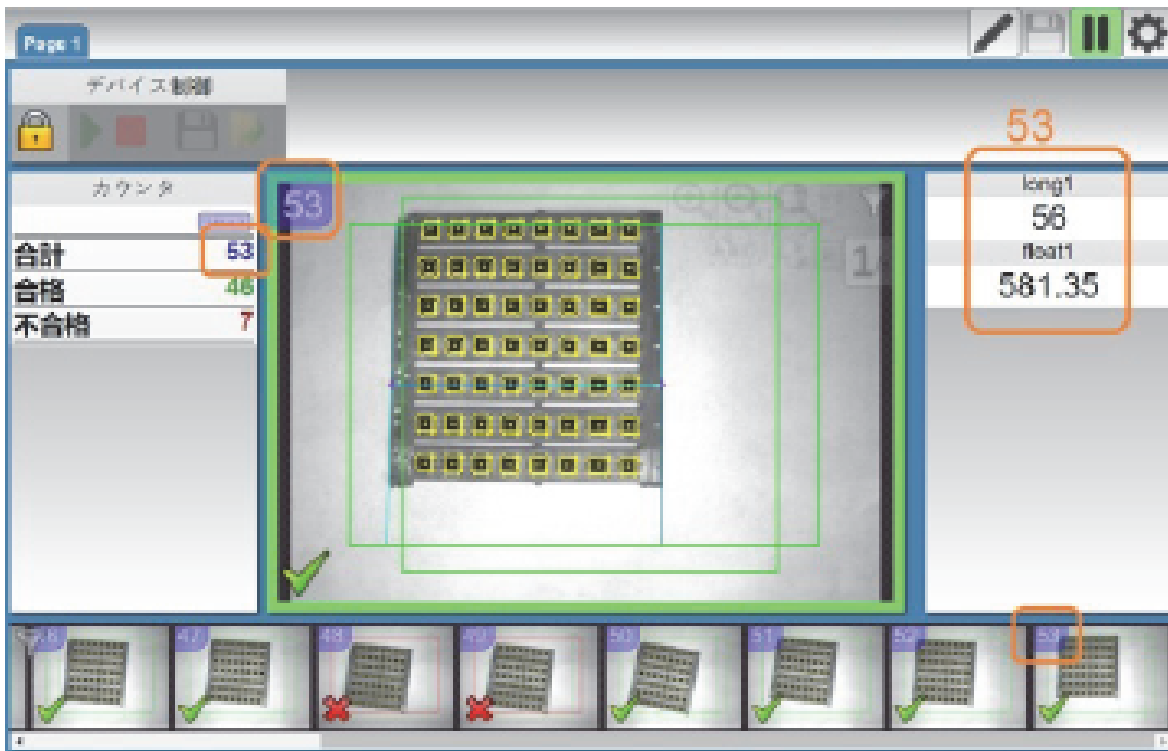


データイベント識別子

各データレコードを一意に特定するための識別子で、Image Filmstrip や Chart ウィジェットなどで左上に数値として表示されます。データイベント識別子からその時の画像や計測データを紐付けることができます。

各検査サイクルの終わりに、関連する結果データがレコードに収集されます。

Omron Web Monitor は、このデータを取得すると、各データレコードを一意のデータイベント識別子に関連付けます。この識別子は、さまざまな Omron Web Monitor ウィジェットに表示され、さまざまなデータ間の相関関係を把握するときに役立ちます。また、内部的にも使用されます。たとえば、表示されている値や画像にカーソルを合わせると、同じイベントに関連するすべてのアイテムが強調表示されます。



ライブモードとレビューモード

WebMonitor には、以下の 2 つの基本的な動作モードがあります。

- ・ライブモード：このモードでは、WebMonitor は接続されたデバイスから新しいデータを継続的に取得します。受信されるデータの量と頻度は、帯域幅および性能上の制約に基づいてバランスが保たれます。現在のデータを確認したいときに使用します。

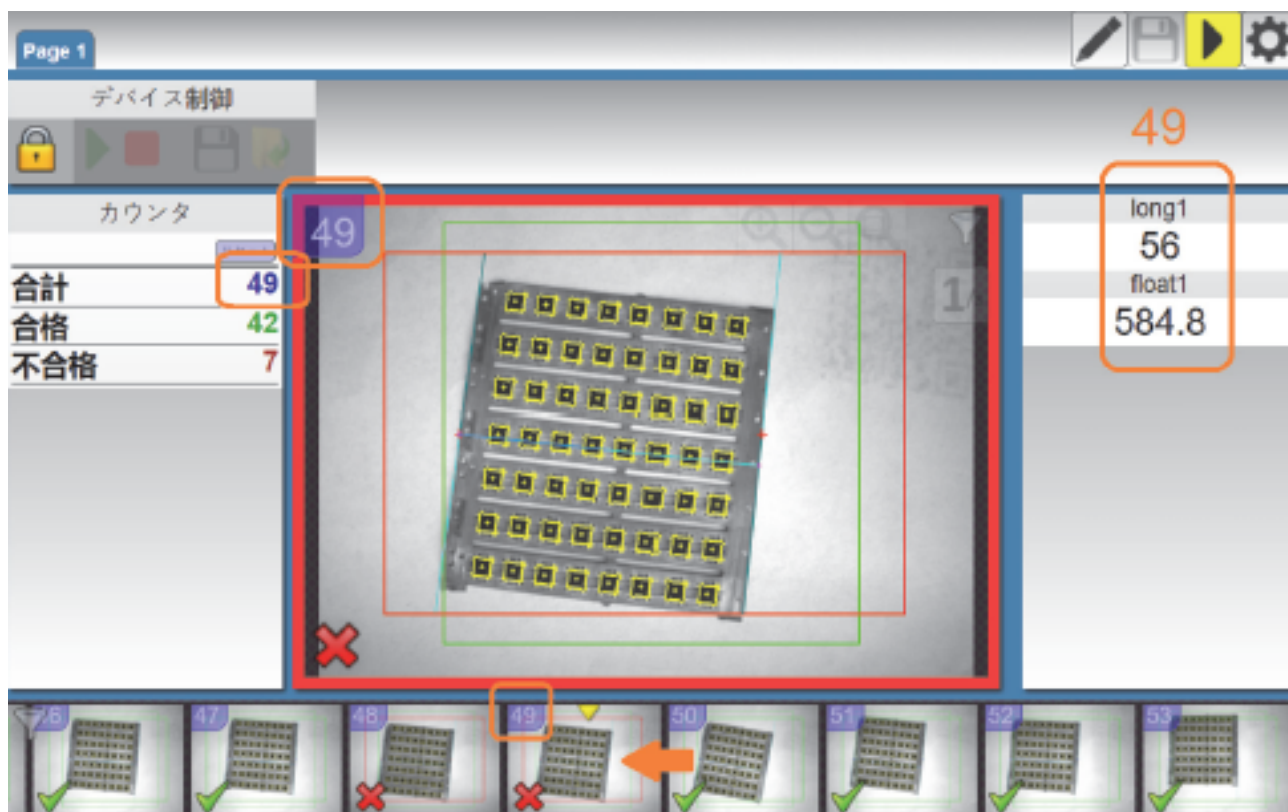


- ・レビューモード：このモードでは、WebMonitor は新しいデータを受信しません。すでに撮像済の履歴データを表示したり分析したりするときに使用します。



ライブモードとレビューモードを切り替えるには、アプリケーションバーのツールバーボタン（停止ボタン（■）、実行ボタン（▶））を使用するか、またはキーボードの [CTRL-R] を押します。

レビューモード時に履歴ウィジェットのいずれかの項目（たとえば、フィルムストリップ、ログ、またはチャートなど）をクリックすると、同じデータイベント識別子を持つデータを含む他のウィジェットが自動的にロードされます。フィルムストリップエントリをクリックすると、[単一画像] ウィジェットに画像がロードされ、その時点での検査カウント、Omron Microscan Link 値、およびその他の要素が表示されます。同様に、ログエントリをクリックして、これらの情報を表示することもできます。



2

レイアウトの編集

レイアウト編集モード	2-2
ページの作成、編集、および削除	2-3
ウィジェットの挿入および設定	2-4
ウィジェット設定パネル	2-7

この章には、WebMonitor インタフェースのレイアウトを用途に合わせて最適化する方法が記載されています。

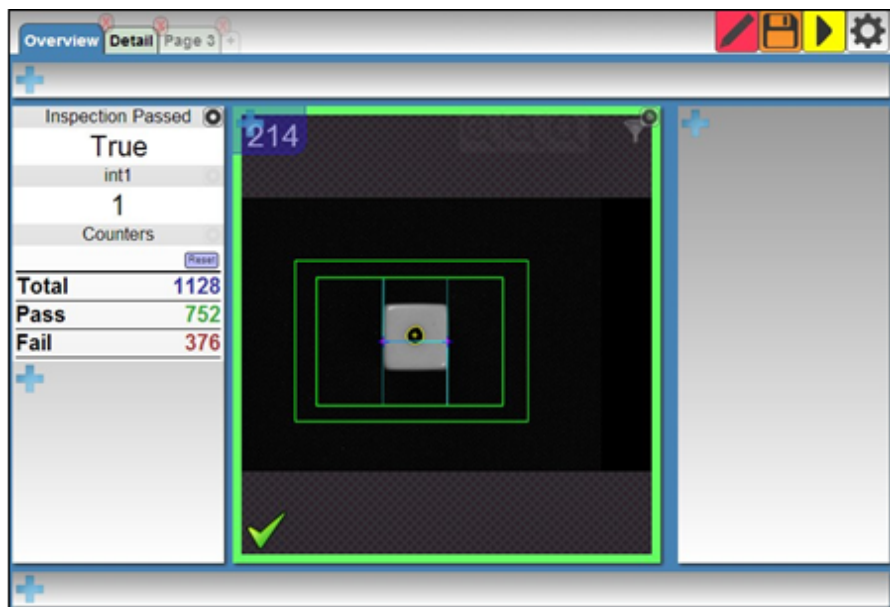
レイアウト編集モード

次のツールバーボタンを押して、いつでもレイアウト編集モードに切り替えることができます。



または、キーボードの [F10] を押します。

レイアウト編集モードでは、パネルにウィジェットがない場合であっても、すべてのパネルが表示されます。



レイアウトに対して変更を行うと、ツールバーの保存アイコンが強調表示されます。

変更前：



変更後：

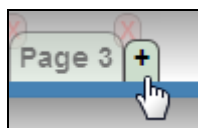


保存ボタンをクリックすると、レイアウトの変更がカメラに保存されます。



ページの作成、編集、および削除

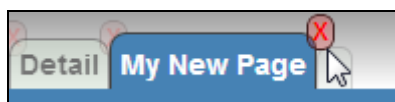
レイアウト編集モードでは、既存のページ選択ボタンの右側に追加ボタンが表示されます。このボタンを押すと、新しい空のページが作成されます。



ページのタイトルを変更するには、タイトルをダブルクリックします（または、タッチスクリーンデバイスで長押しします）。新しいタイトルを入力し、[Enter] を押して確定するか、または [Esc] を押してキャンセルします。



ページを削除するには、ページ選択ボタンの右上隅に表示される [X] をクリックします。これは、レイアウト編集モード中のみ使用できることに注意してください。



ウィジェットの挿入および設定

レイアウト編集モードでは、各パネルに[+]ボタンがあることに注意してください。これらのボタンのいずれかを押すと、挿入できるウィジェットのメニューが表示されます。



たとえば、[値を読み込む] をクリックすると、1 つの Omron Microscan Link 値を表示するウィジェットが挿入されます。新規に挿入したウィジェットの設定パネルが自動的に表示されます。



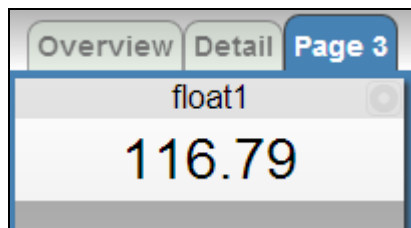
設定パネルのボタンは、ウィジェットごとに異なる場合があります。次の Omron Microscan Link タグセレクタをクリックすると、コンボボックスセレクタが表示されます。



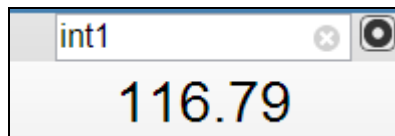
これを使用して、ウィジェットで監視する Omron Microscan Link (MS-Link) タグを選択できます。



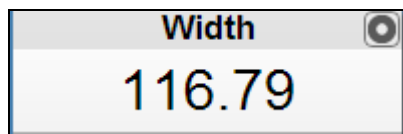
この例では、[float 1] を選択すると、float 1 の Omron Microscan Link (MS-Link) タグにウィジェットが“リンク”されます。



ウィジェットのタイトルを変更するには、ヘッダをダブルクリックします（または、タッチスクリーンデバイスで長押しします）。



新しいタイトルを入力し、[Enter] を押して確定するか、または [Esc] を押してキャンセルします。



注：「int1」や「float 1」などの Omron Microscan Link (MS-Link) タグは、互換性のあるタイプのリンクタグにジョブの値をリンクしておく必要があります。AutoVISION で設定します。

ウィジェット設定パネル

ウィジェットの右上隅には、 ボタンがあります。このボタンはすべてのウィジェットに表示されます（ただし、ウィジェットにカーソルを合わせないかぎり、ほとんど表示されていません）。このボタンを押すと、ウィジェットの設定パネルが表示されます。

設定パネルに表示されるボタンは、以下のとおりです。

アイコン	機能	対応ウィジェット
	パネル内でウィジェットを上に移動します。ウィジェットがパネルの一番上にあるときは働きません。	すべて
	パネル内でウィジェットを下に移動します。ウィジェットがパネルの一番下にあるときは働きません。	すべて
	Omron Microscan Link (MS-Link) タグにウィジェットをリンクさせます。このボタンを押すとセレクトが表示され、カテゴリ別にタグ名が表示されます。	値を読み込む、グラフ (Chart)、値のログ (Log)
	ウィジェット固有の設定を変更します。たとえば「値を読み込む」ウィジェットの設定では、寸法単位の指定や、ブール値が True または False のときに表示されるテキストの変更ができます。	値を読み込む
	ウィジェットのサイズを変更します。共通の選択肢には次のものがあります。 最小 最小幅に合わせます。コンテンツに合わせる必要がある場合、ウィジェットは横に引き伸ばされます。 固定 ウィジェット幅がパネルの左右の幅に固定されます。この幅はカスタマイズできますが、デフォルトでは 194 ピクセルです。 半分 ウィジェット幅がパネルの左右の幅の半分に固定されます。2 つのウィジェットをサイドパネルに並べて置くことができます。 拡大 ウィジェット幅をパネル幅いっぱい引き伸ばします。	すべて（ウィジェットの種類により選択肢が変わります）
	ウィジェットのテキストの色を、パレットの固定色のいずれかに変更できます。	値を読み込む
	ウィジェットの表示モードを変更します。情報の表示方法のオプションは、ウィジェットにより異なる場合があります。このボタンを押して表示オプションを選択してください。	グラフ (Chart)
	ウィジェットを削除します。	すべて

3

タグ

3

WebMonitor タグ	3-2
---------------------	-----

この章には、タグのリストおよび機能説明が記載されています。

WebMonitor タグ

WebMonitor ウィジェットは、多くのデータソースに “リンク” させたり、関連付けたりすることができます。これらの大半は Omron Microscan Link (MSLink) タグに対応していますが、WebMonitor には、厳密には Omron Microscan Link (MS-Link) タグではない追加の項目が用意されています。本書では、これらの項目をすべてタグと呼びます。使用可能なタグは、次のとおりです。

カテゴリ	タグ名	機能
ステータス	inspPassed	検査の合格 / 不合格ステータス
カウンタ	totalinsp	検査の総数のカウンタ
	passinsp	合格した検査の数のカウンタ
	failinsp	不合格の検査の数のカウンタ
	totalinsp-interval	検査の総数のカウンタ いつでも totalinsp をリセットすることができます。このカウンタをリセットしても、ビジョンシステムの実際のカウンタには影響しません。
	passinsp-interval	合格した検査の数のカウンタ いつでも passinsp をリセットすることができます。このカウンタをリセットしても、ビジョンシステムの実際のカウンタには影響しません。
	failinsp-interval	検査の総数のカウンタ いつでも failinsp をリセットすることができます。このカウンタをリセットしても、ビジョンシステムの実際のカウンタには影響しません。
統計	cycle time	検査サイクルの処理時間 (単位: ms)
	idle time	ある検査開始から次の検査までの間に処理に費やされなかった時間 (単位: ms)
	drawtime	検査図面のグラフィックスに費やされた時間 (単位: ms)
整数	int1-int10	MSLink タグに対応した整数
長整数	long1-long10	MSLink タグに対応した長整数
浮動小数点	float1-float10	MSLink タグに対応した浮動小数点
論理値	bool1-bool10	MSLink タグに対応した論理値
文字列	string1-string10	MSLink タグに対応した文字列
内部	log	診断情報のログ
	recordId	現在のアイテムに関連付けられている内部レコード識別子

ジョブと WebMonitor 間の MSLink 接続

ジョブと OMRON WebMonitor 間の MSLink 接続		
種類	実行中のジョブから OMRON WebMonitor への入力	OMRON WebMonitor から 実行中のジョブへの出力
整数	int1-int10	int130-int139
長整数	long1-long10	long130-long139
浮動小数点	float 1-float 10	float 130-float 139
論理値	bool1-bool10	bool170-bool179
文字列	string1-string10	string110-string119

4

ウィジェット

〔値を読み込む〕ウィジェット	4-2
〔値の書込み〕ウィジェット	4-6
〔グラフ〕ウィジェット	4-12
〔値のログ〕ウィジェット	4-14
〔単一画像〕ウィジェット	4-16
〔画像フィルムストリップ〕ウィジェット	4-19
〔ヘッダ〕ウィジェット	4-22
〔検査カウンタ〕ウィジェット	4-23
〔デバイス制御〕ウィジェット	4-24

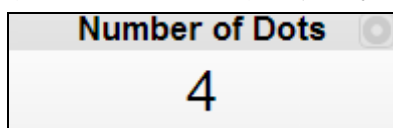
この章には、WebMonitor インタフェースで使用可能な各ウィジェットの詳細な説明が記載されています。

「値を読み込む」ウィジェット



「値を読み込む」ウィジェットには、値とユーザ定義のタイトルが表示されます。

以下に、タイトルと値の例を示します。



ダブルクリックすると（または、タッチスクリーンデバイスで長押しすると）、タイトルを編集できます。表示された値をタグにリンクさせるには、次の設定ボタンを使用します。



さらに、設定パネルから次の Omron Microscan Link タグセレクトアを選択します。



次に色セレクトアを選択します。



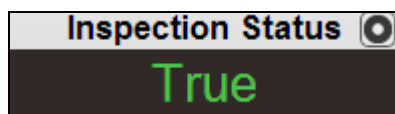
これにより、表示される値に異なるテキスト色を選択します。



「リンクされたステータス (Linked Status)」オプションを「リンクなし (no link)」に設定した状態で、「文字色 (Text Color)」および「背景色 (Background Color)」の色オプションを使用して、「値を読み込む」ウィジェットの色を変更します。



前ページの図のカラーピッカーを使用すると、さまざまな方法で色を選択できます。色分布図をクリックするか、または 16 進数の色値を指定できます。以前に使用した色をパレットとして使用することもできます。



また、リンクされた追加の設定項目の true/false 値に基づいて、色を変更することもできます。たとえば、検査の合格／不合格に基づいて、表示される測定値の外観を変更できます。[リンクされたステータス (Linked Status)] の [inspPassed] を選択すると、追加の色オプションが表示されます。



これで、指定した色が [inspPassed] の値に応じて使用されるようになります。



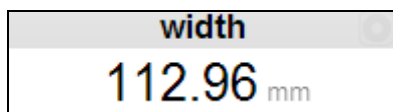
次のウィジェットオプションボタンを選択すると、



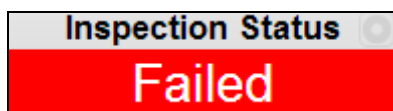
追加の設定オプションが表示されます。



必要な場合は、表示される単位を表すテキストを指定できます。これは、表示される値が数値である場合にのみ適用されます。



表示される値がブール値である場合は、True または False の代わりに表示されるテキストを変更できます。たとえば、この値を Passed または Failed に変更できます。



[値の書込み] ウィジェット

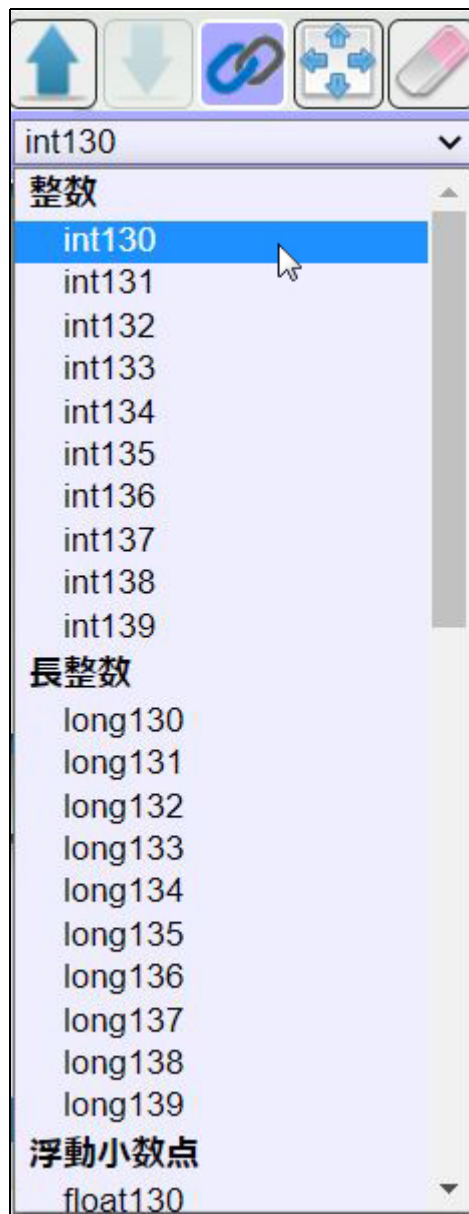


[値の書込み] ウィジェットを使用すると、Omron Microscan Link (MS-Link) タグに接続し、テキストボックスに新しい値を入力したり、データの場合はドロップダウンを使用して True と False のオプションを選択します。問題のデータが WebMonitor がアクセス可能な Omron Microscan Link (MS-Link) タグにリンクされている限り、このウィジェットを使用して、しきい値やマッチ文字列などのジョブの設定を変更することができます。

【値の書込み】ウィジェットをレイアウトに挿入すると、次のように、オプションのツールバーが開いたウィジェットが表示されます。



ウィジェットはデフォルトで int130 タグを使用しますが、リンクアイコンをクリックして別のタグを選択することもできます。



[値を読み込む] ウィジェットと同様に、[値の書き込み] ウィジェットは、整数、長整数、浮動小数点、論理値、文字列タグのリストを提供します。[値を読み込む] ウィジェットでは、データ型ごとに 1 ～ 10 のタグを選択できますが (int1 ～ int10、float 1 ～ float 10 など)、[値の書き込み] ウィジェットでは次のタグ範囲を選択できます。

整数 [int]: 130 ～ 139

長整数 [long]: 130 ～ 139

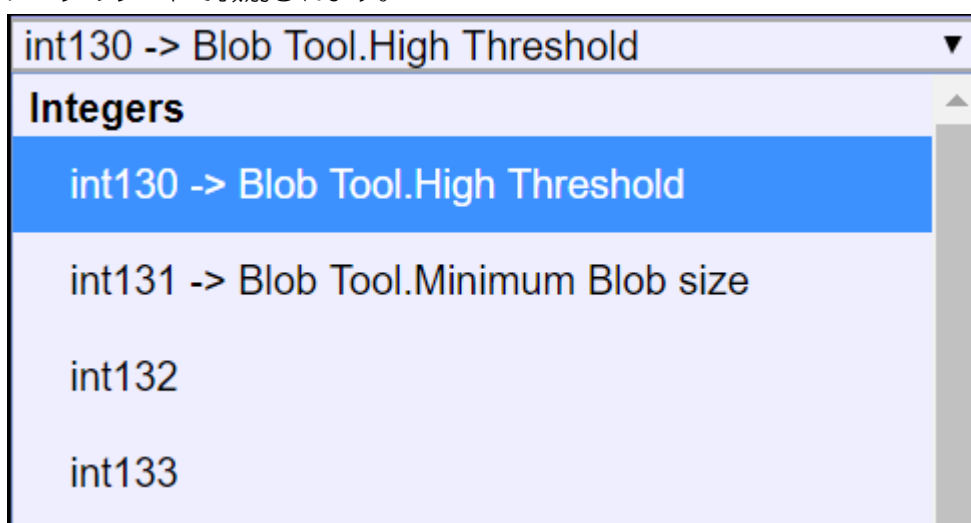
浮動小数点 [float]: 130 ～ 139

論理値 [bool]: 170 ～ 179

文字列 [string]: 110 ～ 119

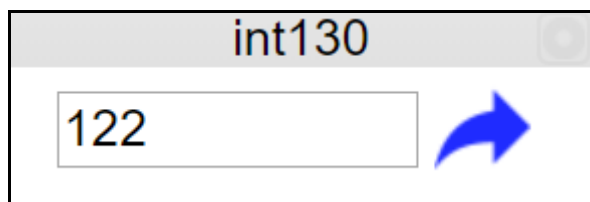
これらの範囲の理由は、101 ～ 124 の数値タグ、101 ～ 164 の論理値タグ、および 101 ～ 107 の文字列タグが、PLC 通信の出力アセンブリの一部であるためです。つまり、PLC を使用している場合、その範囲のタグに書き込むことはできません。PLC に接続されているかどうかにかかわらず、すべてのユーザーに一貫性を持たせるために、PLC の制御外にあるタグにしか接続できません。

また、現在実行中のジョブのデータにリンクされているタグは、ステップ名とそのタグがリンクされているデータのリストで識別されます。



上記の例では、タグ int130 は、Blob Tool という名前のステップの High Threshold データにリンクされています。int131 は、Blob Tool の Minimum Blob size データにリンクされています。タグ int132 と int133 は、ジョブ内にリンクされているデータはありません。

〔値の書込み〕ウィジェットが追加され、書き込みたいタグを選択すると、ウィジェットは次のようになります。



テキストボックスには、タグの現在の値が表示されます。上記の例では、int130 は Blob Tool の High Threshold データにリンクされており、そのしきい値は 122 です。値を変更するには、新しい値を入力し、Enter キーを押してカメラに送信します。上記の青い右矢印ボタンをクリックして送信することもできます。

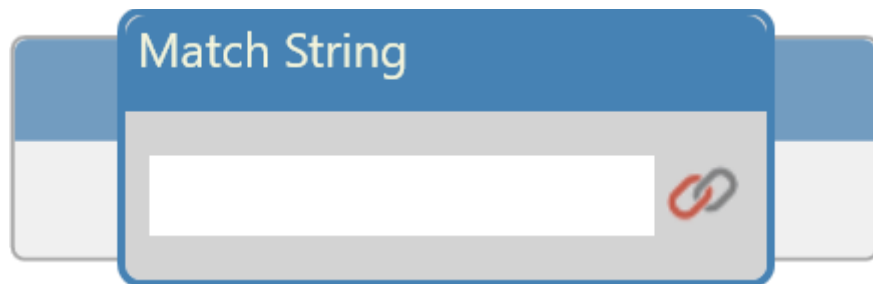
ジョブ内のリンクの設定

〔値の書込み〕ウィジェットを WebMonitor レイアウトに追加すると、ジョブ内のデータの値を変更できます。これを実行するには、問題のデータを WebMonitor が通信できるタグにリンクする必要があります。

たとえば、Symbology Tool の Match String を制御したいとします。ジョブ内のデータをリンクし、WebMonitor の〔値の書込み〕ウィジェットを接続します。

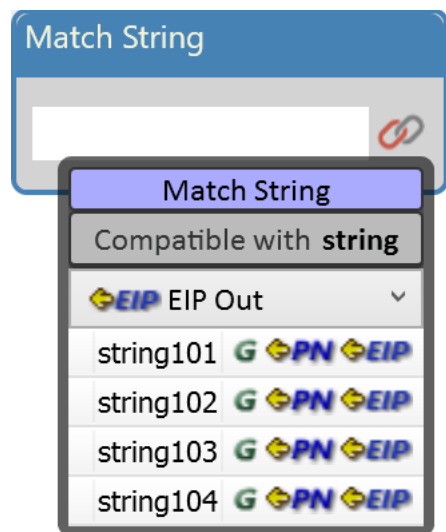
ジョブ内のデータをリンク

AutoVISION でジョブを開き、デコードツールで Match String エディタを開きます。



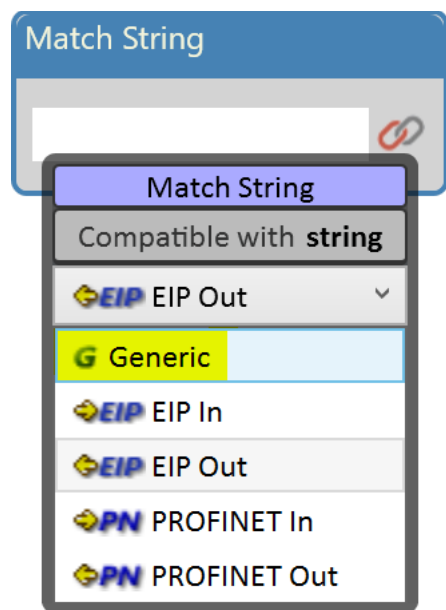
リンクエディタを開くには、リンクアイコンをクリックします。

リンクカテゴリコンボボックスのデフォルトは EIP 出力 [EIP Out] です。



これらのタグは、PLC で使用するために予約されています。

その代わりに、コンボボックスを使用して一般 [Generic] カテゴリに切り替えます。



これにより、利用可能なタグのすべての範囲にアクセスすることができます。[値の書込み] ウィジェットは、string110 ~ string120 に接続できます。この例では、string110 を選択します。次に、AutoVISION の実行ビューに切り替えます。

WebMonitor で [値の書込み] ウィジェットを接続する

今度は、デコードツールを使ったカメラのジョブがあります。デコードツールには、string110 にリンクされた Match String データがあります。[値の書込み] ウィジェットを WebMonitor レイアウトに追加し、string110 に書き込むように設定して、デコードツールの Match String を設定できるようになりました。

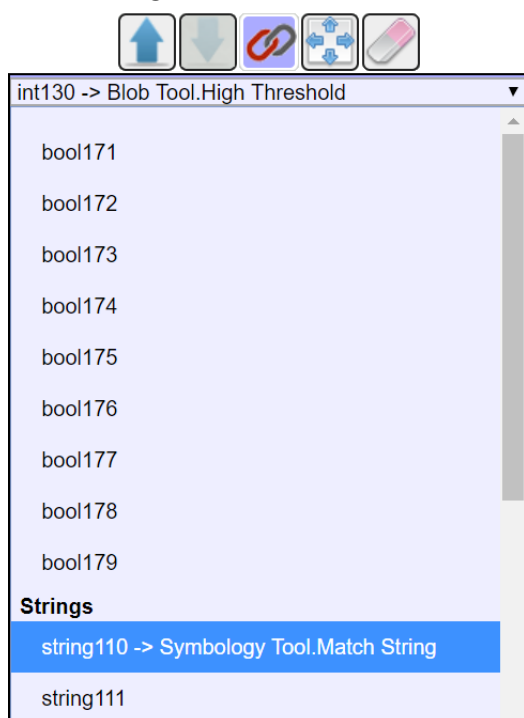
- WebMonitor で、右上隅のレイアウト編集ボタンをクリックします。



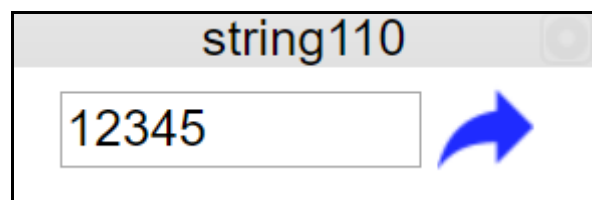
- 右端のパネルで、[ウィジェットの追加] ボタンをクリックします。



- 次に、ドロップダウンから [値の書込み] オプションを選択します。新しく追加されたウィジェットはデフォルトで int130 に接続します。この例では、リンクボタンをクリックして利用可能なタグのリストを開き、string110 を選択できるようになるまでスクロールして、タグを string110 に変更します。



ウィジェットは次のようになります。

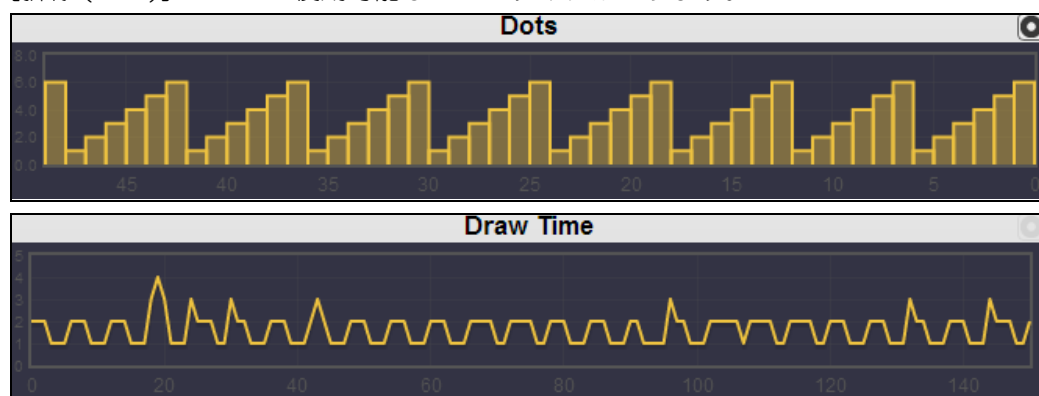


- 既存のマッチ文字列の値があれば、テキストボックスに表示されます。ここに新しいマッチ文字列を入力してください。新しいマッチ文字列をカメラに送信するには、Enter キーを押すか、青い矢印ボタンをクリックします。

[グラフ] ウィジェット

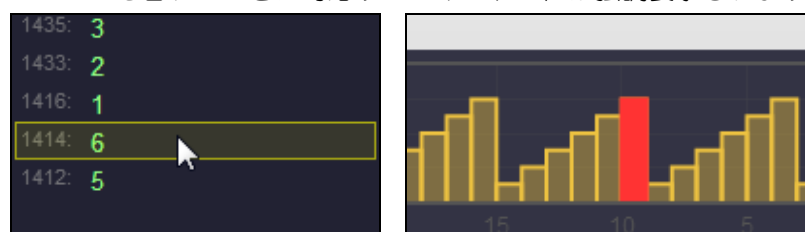


[グラフ] ウィジェットには、一定時間にわたるタグの値のチャートが表示されます。[棒 (Bar)] グラフと [折線 (Line)] グラフの使用可能な 2 つのタイプがあります。



最小値と最大値がチャート中に含まれるように、グラフは自動的にスケーリングされます。表示されるデータの量は使用可能な履歴の量と一致します。

[グラフ] ウィジェット上のデータは右から左に読み取られ、最新の値は右側にあります。データイベントにカーソルを合わせると、対応するチャートの値が強調表示されます。



ダブルクリックすると（または、タッチスクリーンデバイスで長押しすると）、チャートのタイトルを編集できます。チャートをタグにリンクさせるには、次の設定ボタンを使用します。



さらに、設定パネルから次の Omron Microscan Link タグセレクタを選択します。



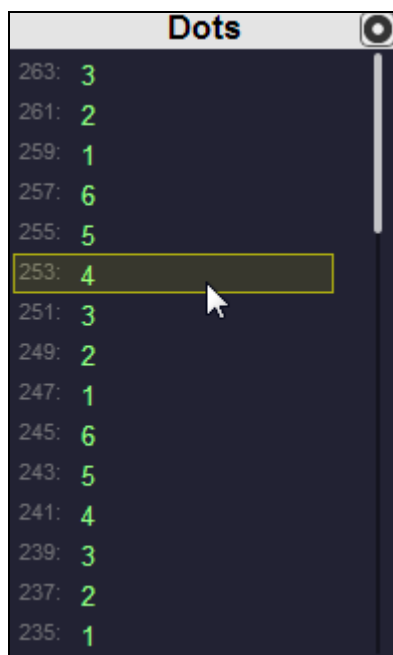
異なるチャートタイプを選択するには、設定パネルから「表示モード」ボタンを選択します。



[値のログ] ウィジェット



[値のログ] ウィジェットには、リンクされたタグの値が履歴リストとして表示されます。最新の値は一番上にあり、より古い値は降順で下に表示されます。



表示された各値の左側には、対応するデータイベント識別子を表す値があります。これは、他のウィジェットに表示される同様の値に対応しています。いずれかの値にカーソルを合わせると、同じイベントに対応するすべての値が強調表示されます。たとえば、フィルムストリップが表示されている場合は、強調表示された値に対応する画像も強調表示されます。

ダブルクリックすると（または、タッチスクリーンデバイスで長押しすると）、タイトルを編集できます。表示されたログをタグにリンクさせるには、次の設定ボタンを使用します。



さらに、設定パネルから次の Omron Microscan Link タグセレクタを選択します。



[単一画像] ウィジェット



[単一画像] ウィジェットは、OmronWebMonitor の主要な機能を表しています。画像とその関連するグラフィックが表示されます。

[単一画像] ウィジェットでは拡大／縮小およびパンを行うこともでき、タッチスクリーンデバイス上でのピンチ動作がサポートされています。グラフィックはベクタ形式として描画されるため、拡大するとラインが太くなる代わりに、さらに詳細が表示されます。

注：Internet Explorer を使用している場合は、拡大するにつれて、ラインがより太く表示されます。

中央のパネルに追加すると、領域全体を占めるように「単一画像」ウィジェットが自動的に拡大されます。追加した他のすべてのウィジェットは、画像の上に表示されます。



「単一画像」ウィジェットには、検査ステータス（緑＝合格、赤＝不合格）を表す色付きの太い境界線も表示されます。左下隅には緑のチェックマークまたは赤の[X]が表示されます。これらは、「画像フィルムストリップ」ウィジェット内の検査ステータスインジケータに対応しています。

左上隅にはデータイベント識別子が表示されます。

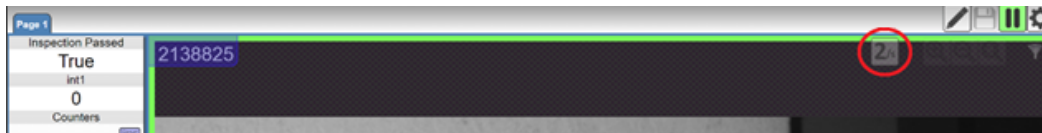
カーソルを合わせると、拡大／縮小ツールバーが表示されます。



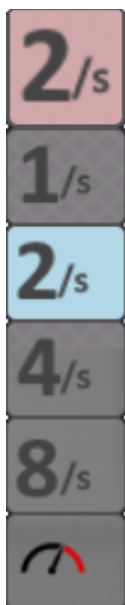
⦿ をクリックすると拡大し、⦿ をクリックすると縮小します。⦿ ボタンを使用すると、ウィジェット内に全体が含まれるように画像が拡大／縮小およびセンタリングされます。マウスを使用している場合は、スクロールホイールを使用して拡大／縮小できます。タッチスクリーンデバイスを使用している場合は、ピンチ動作を使用できます。

リフレッシュレートを選択

WebMonitor には内部タイマがあり、ダッシュボード内の画像とデータを更新するために使用されます。[単一画像] ウィジェットは、画像とデータのリフレッシュレートを制御するためのドロップダウンコントロールを提供します。デフォルトでは 1 秒あたり 1 リフレッシュに設定されていますが、2/s、4/s、8/s または max に変更できます。「max」はページ上のデータをできるだけ早く最新表示します。リフレッシュレートのコントロールは、ウィジェットの右上にあるズームボタンの横にあります。



このボタンの上にマウスを置くと、ボタンのプルダウンがポップアップします。赤い線で示されたスピードメーターのアイコンで示される max を含む、使用可能なすべてのリフレッシュレートオプションが表示されます。



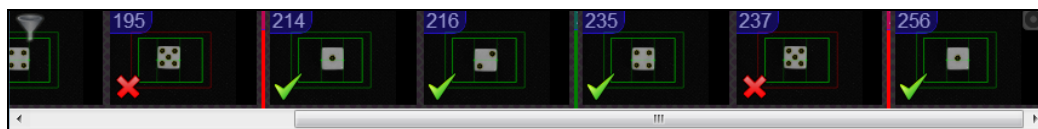
一番上のボタンは現在の設定を示し、ドロップダウンを開くために使用されます。ドロップダウンリストで、現在の設定が青色で強調表示されます。必要なリフレッシュレートオプションをクリックすると、ドロップダウンが閉じられ、上のように新しい選択がメインボタンに表示されます。したがって、8/s ボタンをクリックするとドロップダウンが閉じ、メインボタン 8/s アイコンが表示されます。



「画像フィルムストリップ」ウィジェット



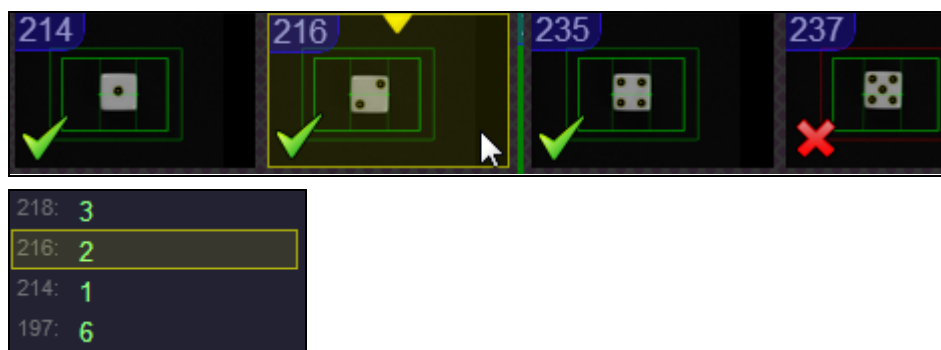
「画像フィルムストリップ」ウィジェットには、画像の履歴が表示されます。画像は右から左に表示され、最新の画像は右側に表示されます。



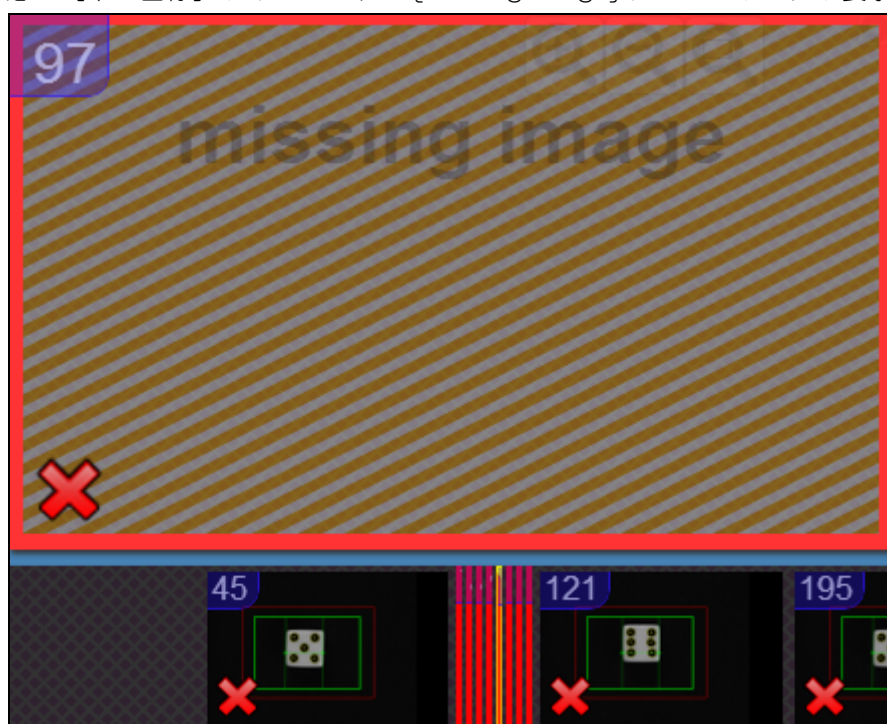
各フィルムストリップエントリでは、左下隅にある緑のチェックマークまたは赤の[X]のいずれかの表示により、検査ステータスが示されます。左上隅にはデータイベント識別子が表示されます。

すべての画像が WebMonitor により取り込まれるわけではないことに注意することが重要です。使用可能な画像数は、帯域幅およびタイミングの条件によって異なります。したがって、（検査の残りのデータは使用可能であるにもかかわらず、）一部の画像が欠落している可能性があります。欠落している画像は、検査が不合格の場合は赤、検査が合格の場合は緑に色付けされた縦の境界線によりフィルムストリップに表されます。

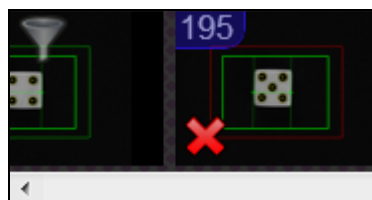
フィルムストリップの項目にカーソルを合わせると、同じデータイベントに対応するすべてのデータが強調表示されます。欠落している画像の縦の境界線部分にカーソルを合わせることもできます。



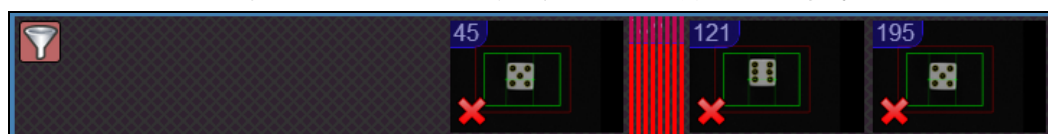
フィルムストリップエントリをクリックすると、その項目がレビュー対象として選択されます。これにより、イベントが記録された時点のデータとともにウィジェットがロードされます。画像が欠落している場合は、任意の [単一画像] ウィジェットに [missing image] プレースホルダが表示されます。



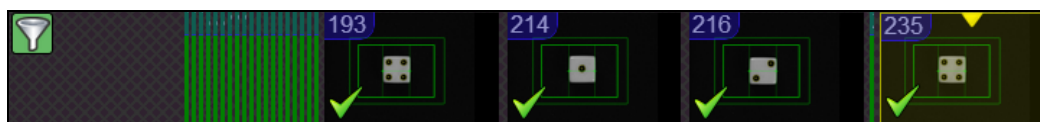
[画像フィルムストリップ] ウィジェットの左上隅には、フィルタボタンがあります。このボタンをクリックすると、フィルムストリップの表示内容がフィルタリングされます。



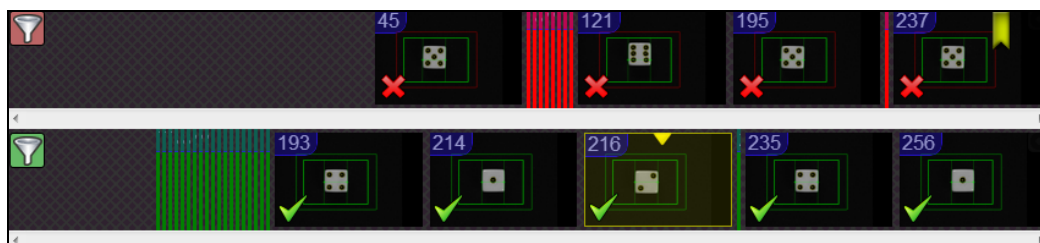
フィルタボタンを一度クリックすると、不合格となった項目のみが表示されます。



フィルタボタンを再度クリックすると、合格となった項目のみが表示されます。



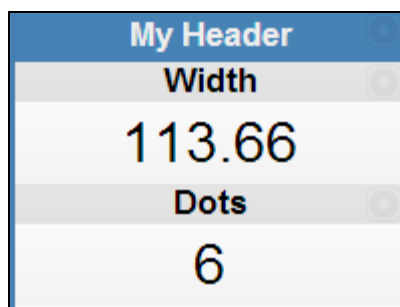
複数のインスタンスのウィジェットを作成できるため、合格および不合格の画像を 2 つのグループにソートできます。



[ヘッダ] ウィジェット



[ヘッダ] ウィジェットにはヘッダが表示されます。これを使用して、ウィジェットのグループを必要に応じて識別できます。



ダブルクリックすると（または、タッチスクリーンデバイスで長押しすると）、タイトルを編集できます。

[検査カウンタ] ウィジェット



[検査カウンタ] ウィジェットには、検査カウンタ（totalinsp-interval、passinsp-interval、failinsp-interval）の一定間隔の値が表示されます。これにより、ビジョンシステムの実際のカウンタに影響することなく、カウンタをゼロにリセットできます。

Counters	
	<button>リセット</button>
合計	0000
合格	0000
不合格	0000

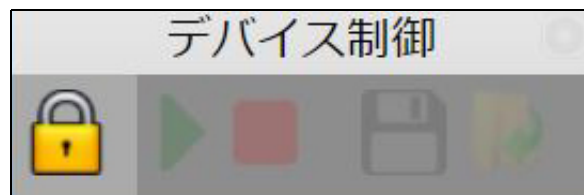
ダブルクリックすると（または、タッチスクリーンデバイスで長押しすると）、タイトルを編集できます。

[デバイス制御] ウィジェット



[デバイス制御] ウィジェットを使用すると、検査の開始と停止、現在ロードされているジョブの変更ができます。

[デバイス制御] ウィジェットをレイアウトに挿入すると、次のような表示がされます。



[デバイス制御] ウィジェットの設定やセットアップは必要ありません。ウィジェットは、挿入するとすぐに使用できる状態になっています。

注：[デバイス制御] ウィジェットはレイアウトに 1 つだけ挿入してください。2 つ以上挿入すると、インターフェースのエラーが発生する可能性があります。

制御取得ボタン



デバイス上でジョブを開始 / 停止または変更するには、まずデバイスを制御する必要があります。ウィジェットの左端に黄色のロックアイコンが表示される場合は、デバイスはロックされています（自分の制御下ではありません）。

制御取得 [Take Control] ボタンをクリックして、以下のようにユーザ名とパスワードを入力します。初期値はともに（なし）です。

正しいユーザ名とパスワードを入力すると、そのデバイスの制御権が与えられます。ボタンが緑色のロック解除アイコンに変わり、デバイスが現在制御されていることを示し、ウィジェットのすべてのボタンが有効になります（下図参照）。



デバイスがすでに別の PC、または AutoVISION によって制御されている場合は、[Take Control] ボタンのロックアイコンが赤色になります。



これは、他のユーザがデバイスを解放するまで、デバイスを制御できないことを示します。

開始ボタン



開始ボタンをクリックすると、検査はデバイスの実行モードになります。検査がすでに実行中の場合は、このボタンは明るい青色で強調表示されます。

停止ボタン

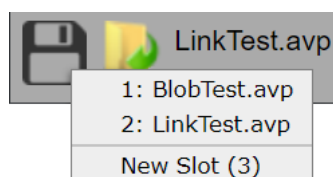


停止ボタンをクリックすると、すべての検査が実行モードから外れます。検査がすでに停止している場合は、このボタンは明るい青色で強調表示されます。

ジョブを保存ボタン



[値の書込み] ウィジェットを使用してジョブ内の値を変更する場合は、ジョブを保存ボタンをクリックして、そのジョブを現在のスロットまたは新しいスロットに再保存することができます。ジョブを保存ボタンをクリックするとコンテキストメニューが表示されます。

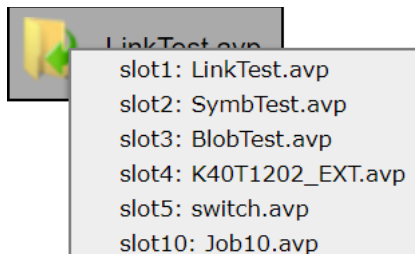


このメニューでは、現在のジョブ LinkTest.avp がスロット 2 に保存され、BlobTest.avp という別のジョブがスロット 1 に保存されます。2 : LinkTest.avp を選択すると、同じスロットにジョブを再保存します。または、[New Slot] を選択すると、デバイスの次の使用可能なスロット（この場合はスロット 3）にジョブが保存されます。

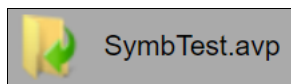
ジョブを変更ボタン



ジョブを変更ボタンをクリックすると、デバイスのフラッシュメモリに保存されているジョブが切り替わります。このボタンをクリックすると、デバイスにロードされているすべてのジョブのリストを示すポップアップメニューが表示されます。



切り替えたいジョブをクリックすると、そのジョブがロードされます。現在ロードされているジョブの名前は、常にジョブを変更ボタンの右側に表示されます。この例では、slot2: SymbTest.avp をクリックすると、ジョブの変更が発生している間、テキスト変更中 ... という文字列が右側に表示されます。切り替えが完了すると、次のように表示されます。



ジョブの変更が失敗すると、avp 名の代わりに短いエラーメッセージが表示されます。

名前を付けてスロットを保存

ジョブをスロットに保存すると、ジョブ名を入力するよう求められます。ジョブ名を入力し、[OK]をクリックして、新しい名前で、指定したスロットにジョブを保存します。



名前をつけて保存

×

スロット4のジョブ名を入力してください

NewJob

OK

CANCEL

A

PC ベースシステムの WebMonitor HTTP ポートの変更

WebMonitor HTTP ポートの変更..... A-2

この章には、PC ベースシステムの WebMonitor HTTP ポートを変更する方法に関する情報が記載されています。

A

WebMonitor HTTP ポートの変更

レジストリキーを追加することにより、PC ベースシステムの WebMonitor HTTP ポートを 8080 以外の値に変更できます。これは、すでに WebMonitor 以外のアプリケーション用としてポート 8080 を使用している PC に、ソフトウェアをインストールする場合に役立ちます。

重要：この機能は PC ベースシステム専用です。カメラはポート 80 で固定となります。

32 ビットシステムの場合

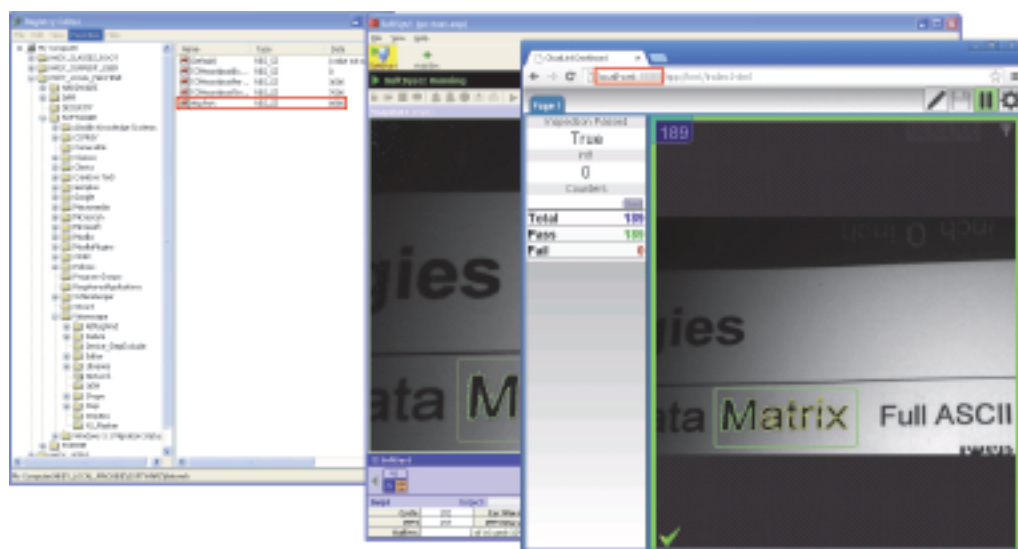
WebMonitor HTTP ポートを 8080 以外の値に変更するには、以下のレジストリキーを追加します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Visionscape\Network\HttpPort

[HttpPort] の値は、目的のポート番号を含む文字列である必要があります。

また、サーバ設定の変更時には、カメラ側の電源を入れ直す必要があります。

以下の図は、8080 から 8888 に変更された HTTP ポートを示しています。これで、localhost のアドレスには、ポート番号として 8888 が表示されるようになります。



64 ビットシステムの場合

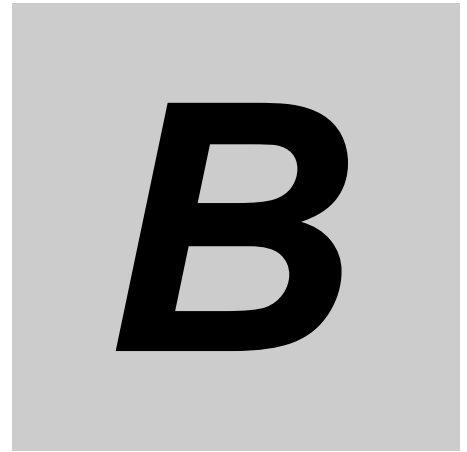
WebMonitor HTTP ポートを 8080 以外の値に変更するには、以下のレジストリキーを追加します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE Wow6432Node\Visionscape\Network\HttpPort

[HttpPort] の値は、目的のポート番号を含む文字列である必要があります。

また、サーバ設定の変更時には、カメラ側の電源を入れ直す必要があります。

上記の例のように、localhost のアドレスには新しいポート番号が表示されます。



WebMonitor の多言語対応

WebMonitor の多言語対応 B-2

このセクションでは、WebMonitor ユーザインターフェイスの翻訳方法と多言語対応方法について説明します。

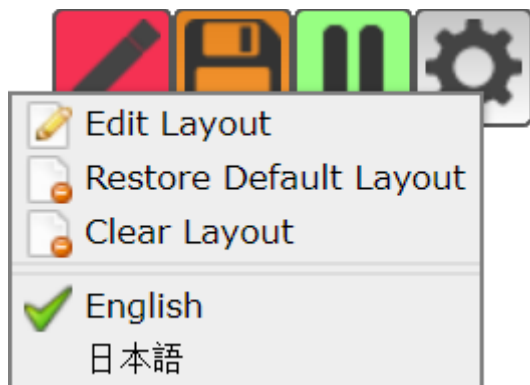
B

WebMonitor の多言語対応

WebMonitor は、複数の言語でテキストを表示できます。サポートされている各言語の言語リソースファイルをデバイスに追加する必要があります。

言語の切り替え

右上隅の設定メニューから WebMonitor の言語を変更します。



注：英語と日本語のみがデフォルトでインストールされています。

デバイスに追加された言語は、上記のメニューの最後に自動的に追加されます。現在アクティブな言語の横にチェックマークが表示されます。使用する言語をクリックすると、その言語で WebMonitor のページが再読み込みされます。

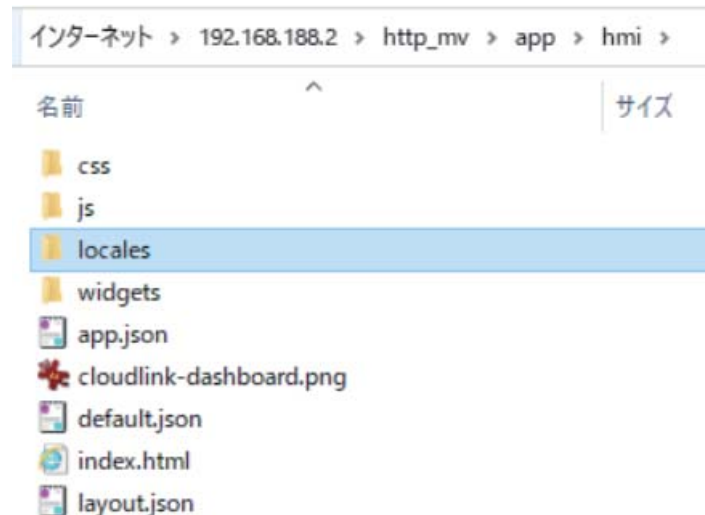
新しい言語の追加

新しい言語を追加するには、所定の言語リソースファイルを作成し、指定の場所に配置する必要があります。

言語リソースファイルの仕様

場所：言語リソースファイルは、デバイスのこの場所に配置する必要があります。

\http_mv\app\hmi\locales



命名規則：ファイルの名前は <country code>_resources.json でなければなりません。

<country code> は言語の 2 桁の国コードの指定です。たとえば、ドイツ語は de、英語は en、中国語は zh などです。ドイツ語のリソースファイルは de_resources.json という名前になります。

内容： 言語リソースファイルは、次の内容を持つ .json ファイルです。

```
{
  "name": "English",
  "countryCode": "en",
  "data": {
    "KEY_INSP_PASSED": "Inspection Passed",
    "KEY_COUNTERS": "Counters",
    "KEY_ACTION": "Action",
    ...
  }
}
```

name: これは、この言語の WebMonitor の設定メニューに表示するテキストです。

countryCode: これは、言語の 2 桁のコードで、ファイルの名前と同じコードです。これらのコードは以下に記載があります。

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_ISO_639-1_codes

data: キー／値のペアが格納されます。WebMonitor はこのセクションのキーを使用して、表示する正しい文字列を検索します。

追加設定方法

言語リソースファイルを配置するために FTP 経由でデバイスにアクセスします。

例えば FTP クライアントツールで接続したり、エクスプローラのパスに以下のように入力してアクセスすることができます。

ftp:// 192.168.188.2

※192.168.188.2 はデバイスのデフォルト IP アドレスです。

デバイスにアクセスする際のユーザ名とパスワードは以下です。

ユーザ名： target

パスワード： password

1. 必ず英語の言語リソースファイル "en_resources.json" をもとに作成してください。このファイルのコピーを作成し、新しい言語の国コードを使用して名前を変更します。この例では、ドイツ語の翻訳で新しいファイルを作成していると仮定し、名前は "de_resources.json" になります。
2. 任意のテキストエディタでファイルを開き、以下を変更します。
 - name：を "Deutsche" にします。
 - countryCode：を「de」にします。
3. この更新されたファイルを翻訳します。翻訳は "data" セクションのすべての英語の文字列をドイツ語に翻訳する必要があります。
注：このセクションのキー値は変更しないでください。値のみを翻訳する必要があります。
4. 翻訳されたファイルを、\http_mv\app\hmi\locales フォルダに格納します。
5. WebMonitor を再読み込みすると、言語が自動的に検出され、設定メニューのオプションとして提供されます。

●本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
●本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室

フリー 0120-919-066
通話

携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけませんので、下記の電話番号へおかけください。

電話 055-982-5015（通話料がかかります）

■営業時間：8:00～21:00 ■営業日：365日

●FAXやWebページでもお問い合わせいただけます。

FAX 055-982-5051 / www.fa.omron.co.jp

●その他のお問い合わせ

納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。

オムロン商品のご用命は